

第13回栃木県老連大学校OB会研修会

1月30日（月）とちぎ健康の森講堂に栃木県老連大学校1期から15期までの卒業生220名が集まり、年1回の合同研修会を開催しました。

研修会では、黒圖盛男県老連会長から「卒業生は500名を超え、市町老連にとっても大きな財産で、老人クラブ活性化のために、地域の担い手として、豊かな地域づくりを期待している」と、卒業生を激励。

講演会では、「支え合い社会における老人クラブの役割」の演題で白根沢彰常務理事兼事務局長より講演がありました。卒業生の皆さんは真剣に、耳を傾けておりました。

午後には、各期ごとのアトラクションが行われ、コーラスや踊りなど多彩な出し物で、会場は大いに盛り上がりました。最後には「ふるさと」を全員で歌って締め、各期の横の繋がりと、また、OB会の縦の繋がりとで、まさに人と人と交わりこそが、老人クラブの地域支え合い事業であり、老人クラブパワーを発揮した一日で、次回の再会を誓いました。



4期会



5期会



6期会



7期会



8期会



9期会



10期会



11期会



12期会



13期会



14期会



15期会



日光和楽踊り



会場の様子